

2022年11月4日

## 「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では本格的な冬を迎えるにあたり、北海道ほか主催の「冬の交通安全運動」の実施期間にあわせて、踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地でドライバーの皆様には「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」、「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、また「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒※等で列車を止める」ことなどを呼びかけます。※発炎筒は「道路運送車両の保安基準」により自動車に装備を義務付けられています。



踏切事故防止キャンペーンの様子

### ■実施期間

2022年11月13日(日)から11月22日(火)までの10日間

### ■実施内容

- ・列車内での車内放送による呼びかけ
- ・特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問して呼びかけ
- ・ラジオCMの放送
- ・駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ（札幌駅ほか17駅）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での啓発活動は中止しております。

### ＜冬期における踏切事故＞

2022年10月末時点において踏切事故は2件発生しております。冬期間（12月～3月）における踏切事故は、昨年度は1件発生し、過去5年間の統計では全体の6割を占めております。

冬本番を迎えるこれからの時期は、車がスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型事故」の発生が懸念されます。天候や路面状況に応じて慎重な運転を心がけ、踏切手前でのスピードダウンと早めブレーキによる確実な一旦停止を呼びかけてまいります。